

# 雲 外 蒼 天

No. 2

「クラブが忙しくて(やるが多くて)、今は勉強どころじゃないよ」という君へ！

確かに今日から高校入試(2月25日?)まで、まだ315日もある。しかし、言い方を変えれば、315日しかないのである。

確かに「クラブを引退してから勉強する」というのは一理ある。だが、何か月か後にクラブがなくなった時点で、ベース(土台)があるかないかで、その後の展開はまったく違って来る。今はその土台を作るときである。

親鸞<sup>しんらんしょうにん</sup>聖人が9歳のとき「明日ありと思う心の仇桜<sup>あだぎくら</sup> 夜半に嵐の吹かぬものかは」という歌を詠んでいる。

「今、美しく咲いている桜を明日も見ることができたらと安心していても、夜中に強い風が吹いて桜の花が散ってしまうかもしれない」という意味である。

私たちはとにかく明日があると思いがちであるが、寿命は必ず尽きるのに、自分の命だけは明日も明後日も永遠に続いていくような気がする。しかし、時間は確実に過ぎていき、今日という日は決して取り戻せない。

勉強において、「明日やればいいや」とか「今度の休みにまとめてやろう」などと考えていると「夜半に嵐の吹くかもしれない。スポーツでも、基礎練習は毎日やるものなのだ。

新しい学年が始まって2週間あまりたったが、今こそ**華麗なるスタート**を切るときなのである。

マラソンなどでもそうだが、全員が一斉にスタートを切るとき、後ろの方にスタート位置があれば、他のメンバーを追い越して先頭に立つためには大変な努力を要する。場合によっては、オーバーペースで途中から息切れしてしまうかもしれない。逆に前の方から出発すれば自分を<sup>きまぎ</sup>遮る者はいないし、自分のペースが作れ、勝利により近づくのである。

今クラブをやりながら勉強の土台を作っていなければ、半年後に「勝負にならない」のである。つまり、みんながスパートをかけたときに「後方からのスタート」となる。

それなら何をやるかということ、宿題はもちろんやるが、それ以外に絶対にやらなければいけないもの(学校で指示されたもの)でないもの<sup>を</sup>やるのである。それは自分で買った問題集かもしれないし、1年、2年の時の復習(その時使った問題集)でもいい。

さあ、君は今やるのか、それともやらないのか！

